

9月2日 伊藤誠先生を偲ぶ会 報告

2023年9月2日(土) 東京大学 本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール(伊藤国際学術センター内)で、120名余の参加者のもとに、伊藤誠先生を偲ぶ会が行われました。

14時開始。黙祷のあと、小幡道昭さん(東京大学)による「伊藤誠先生の業績紹介」がありました。景気循環論(恐慌論)、価値の価格への転形論、資本主義の逆転論の3つの分野において、マルクス経済学の内外の学説を総合する稀有の業績が語られました。

そのあと、回想1で13名、回想2で11名が、伊藤誠先生とのかかわりについて発言しました。[→プログラム・発言者氏名はこちら](#) 幅広い人脈、弟子達に対するときには厳しく、ときに情愛に満ちた徹底した指導のようすが、それぞれからユーモアを交えて披露され、5分間隔のスピーチの連続というシンプルなプログラムではありましたが、とても充実した会であったと思います。

休憩時間に、主催者の許可を得て、伊藤誠先生の連続講座「マルクス経済学と現代世界ー現代世界の歴史と現状を認識する上で、『資本論』がどのように役立つか」**第1回のZOOM録画のビデオ**を10分間ほどスクリーンに写しました。伊藤先生の親しみやすい語り口が、よく伝わったと思います。

世界資本主義フォーラムを代表して矢沢が「政治経済学としてのマルクス経済学へ」という趣旨のスピーチをしました。[→矢沢の発言原稿はこちら](#)

最後に、伊藤先生の妻の伊藤祥子さんからご挨拶がありました。

なお、伊藤誠先生の遺著「『資本論』と現代世界 マルクス理論家の回想から」(青土社2023.9)と実行委員会の作成した詳細な「伊藤誠先生 年譜・著作目録」が参加者に配布されました。

世界資本主義フォーラムから壇上に置く生花を寄贈しました。

小幡道昭さんをはじめ、実行委員会のみなさまのご尽力にお礼を申し上げます。

(文責・矢沢国光)